

令和３年度第１回釜石市立栗橋公民館運営審議会議事録

日時：令和３年５月１１日 １３時３０分～１４時４０分

場所：橋野ふれあいセンター会議室

出席者：遠野健一委員長、小笠原幸雄副委員長、菊池紫登美委員、八幡裕子委員、
遠藤朱実委員、舞良昌孝委員（途中退席）

まちづくり課：平野課長、佐々木主幹

栗橋公民館：栗澤館長、小濱事務補助員

欠席者：藤原成子委員

栗澤館長の進行により運営審議会が開会した。

協議に先立ち、舞良昌孝委員が途中退席予定のため、議決の権限は、議長である遠野委員に一任することとし、栗林小学校関連行事について概要説明があった。

○学齢期を中心とした事業

- ・どんぐり苗の植樹

舞良委員：先日、PTAの役員等と植樹の事前準備を行いました。５月２１日に、６０本の苗木の植樹を予定。

- ・そば打ち体験

舞良委員：講師として藤原貞夫さんにご協力いただいて、３・４年生を対象に実施したい。

○成人期を中心とした事業

- ・実用小物製作

舞良委員：やまびこ女性教室は、本校のPTAが実施しておりまして、学習発表会とあわせて作品展示を行ってる。実施可能かどうかについては、臨機応変に判断する必要がある。

○地域や世代を超えた事業

- ・餅つき大会

舞良委員：会食を伴う内容であるため、昨年度はコロナウイルス感染症の状況を考えて中止した。今年度においても、状況を見ながら実施可能かどうか判断する。

- ・ふるさと再発見地域学習会

舞良委員：１１月頃に実施したいと考えておりますが、こちらもコロナウイルス感染症の状況を見ながら判断する。

○その他

栗林小学校の校庭の整備が終了しました。土の入れ替えや排水溝の設置により、とても立派な校庭になった。５月１２日にテープカットを行う。

1. あいさつ

【平野課長】

皆様、本日はお忙しい中ご出席を賜りまして、ありがとうございます。まちづくり課長の平野と申します。よろしくお願いいたします。栗橋公民館につきましては、地域に密着したコミュニティ活動を展開し、地域の人々から親しまれる公民館を目指しております。しかし、昨年からは、新型コロナウイルス感染症により投資においても感染者が出るなど、思うように活動ができないことが多々あり、現在もその状態が続いております。このような状況下ではありますが、うがい、手洗い、消毒などの新しい生活様式を取り入れ、今後の公民館活動に反映させていきたいと考えておりますので、委員の皆様におかれましては、忌憚のないご意見をいただきますと共に、今後とも、栗橋公民館の運営にご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。最後になりますが、栗林公民館の運営方針として掲げている「心豊かな人づくり」、「心ふれあう人づくり」、「心ふれあう古里づくり」を目指して、公民館活動の一層の充実を図っていただけるようお願いしております。簡単ではございますが、これをもってご挨拶とさせていただきます。本日はよろしくお願いいたします。

2. 協議（遠野健一議長の進行）

【遠野議長】

お忙しいところお集まりいただきましてありがとうございます。よろしくお願いいたします。では、協議に入ります。まずは令和 3 年度釜石市立栗橋公民館運営方針及び事業計画について、事務局から説明をお願いいたします。

【協議 1】令和 3 年度釜石市立栗橋公民館運営方針及び事業計画について

（資料に沿って、栗澤館長から説明）

【主な質疑】

○学齢期を中心とした事業

- ・どんぐり苗の植樹

小笠原委員：個人情報の問題もあると思うが、苗木に植樹した方の名前を書いたものをつけれないか。

八幡委員：以前はつけていたと思いますが、今はつけていないんですか。

栗澤館長：今はつけていないと思います。

遠野議長：以前のものは、風で飛ばされてしまうようなものだったと思う。ずっと名前が残るようにするのは難しいと思うが、意見として。

栗澤館長：今までの経過もあると思うので、校長先生に確認したいと思います。

○成人期を中心とした事業

- ・実用小物製作

小笠原委員：栗林小学校の学習発表会は、PTA に限らず、地域の方も出展できるのか。

遠藤委員：地域の方も出展して良いことになっていると思う。

遠野議長：以前参加した時は一般の方の作品展示もあったが、現在どうなっているのかはわからない。

小笠原委員：応援センターだよりで住民への周知をお願いしたい。

栗橋館長：そうですね。一般の方からの募集についてお知らせを掲載できれば良いかも知れないですね。

八幡委員：どんなものを出して良いのかわからない。

栗澤館長：主に手芸関係が多いですね。

八幡委員：橋野に学校があった頃は、PTA と一般の方が一緒に作品を作ったりしていた。一般の方は、作品展示の機会があることがわかって、どうして良いかわからないと思う。

遠野議長：栗橋地区のような少子高齢化が進んでいる地区では、学校行事は重要なふれあいの場になる。子どもや孫がいない方でもこういった行事に参加しやすいような体制づくりも、公民館としての役割の一つじゃないかと思う。応援センターにも住民への周知にご協力いただきたい。

栗澤館長：はい。

遠藤委員：橋野では PTA と地域住民全員に声がかかっていたが、栗林は大勢に声をかけないで、係の方や PTA に声をかけているような感じなのか、詳しくはわからない。

小笠原委員：バスの問題もあったのかも知れないですね。

遠藤委員：そうかも知れないですね。私が見に行った時は体育館でやっていて、後ろのテーブルに作品を展示していたが、橋野の時は 1 つの教室を全部展示に使っていたので、大勢に声をかけるとなると、展示場所が足りなくなると思う。

遠野議長：運動会でも学習発表会でもそうだが、子どもや孫がいる家庭は限られている。そうでない方でも地域行事として応援や見学に行ける状況が理想だと思うので、そういう体制づくりも公民館としても役割があるのではないか。地域の方でも、うちには子どもや孫がいないから、学校行事とは関係ない考える方は多いし、それが自然なことだと思う。そこをよく考えて、皆で盛り上げていくということが大事だと思う。

小笠原委員：昔は PTA の方だけでも人数が多くて、学校は学校、地域は地域の運動会があったので問題なかったが、今は地域の運動会はやってない。

八幡委員：子どもがいなくても、PTA の会員として会費を納めている方もいる。

遠野議長：そこはこの地区のとても良いところだと思う。

遠藤委員：子どもや孫がいない方でも参加しやすいように、もう少し地域性に沿った行事になっていくと良いなと思う。

遠野議長：確かに、学校を中心にどのように地域を盛り上げていくかが課題ですね。

遠藤委員：学校は学校の方針があると思うし、栗林にも、以前は地域の運動会みたいなものがあったと思う。地域性をミックスした、子どもがいない方でも一緒に楽しめるような内容にできればと思う。

遠野議長：学校行事であっても、地域行事としての側面をもった行事になれば良いなということですね。学校の方針もあるので難しい部分があると思いますが、そのような体制になれば良いのかなと思う。

遠野議長：これまで出た意見については、学校と相談しながら検討できればいいと思うので、応援センターに調整をお願いしたい。

栗澤館長：学校行事のことにに関してどこまでくい込んで話ができるかわからないが、学校と相談したいと思います。コロナウイルス感染症のこともあり、すぐには具体的な話はできないかもしれないが、いただいた意見については、折を見て校長先生とお話をしたいと思います。

- ・映画鑑賞会

遠野議長：これは、日中に暗幕を使って放映するということですか。

栗澤館長：スクリーンに映す場合は暗幕を使用するが、上に窓がある施設では遮光が難しいので、大きいテレビで放映することも検討している。これまでの事例を確認ながらやってみたいと思います。

○地域や世代を超えた事業

- ・ふるさと再発見地域学習会

小笠原委員：時期や場所は未定のようなだが、協力したいと思う。

栗澤館長：場所については、栗林小学校で6ヶ所くらい候補地を決めて、毎年1か所ずつまわるように取り組んでいる事業で、昨年度は中止したため、今年度の行き先はどんなのか確認しておきます。

- ・ラベンダー小物づくり

遠藤委員：これは、ラベンダーまつりとはまた別のものですね。

栗澤館長：はい。ラベンダーまつりのラベンダーは橋野町振興協議会で育てていますが、ラベンダーまつり終了後は刈り取ってしまうので、その前にこの事業で使わせてもらえればと思っています。

小笠原委員：刈り取った後のラベンダーは販売もしているが、量が多くて余ってしまうようだし、リラックス効果もあっていいのではないかな。

遠野議長：コロナウイルス感染症により、様々な活動に制限がある中で、公民館事業は貴重な交流の場だと感じている。館長は大変だと思うが、しっかりと感染対策をしながら活動をしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。

【協議2】その他

遠野議長：次にその他の意見等はありませんか。

遠藤委員：以前の公民館事業で、「くらしの書」というものがあったと思うが、もうやっていないのか。

栗澤館長：3年前まではやっていた。もっと地域住民が参加しやすい方法や、集まりや

すい時期などを模索する方法もあったかもしれないが、なかなか参加者が集まらなかったため、2年前からやらなくなりました。

遠藤委員：そうなんですね。周囲の方のお話を聞くと、機会があれば参加したいという声も聞こえてくるのですが、いざ会場を決めて人を集めるとなると難しいようですね。

遠野議長：私も参加したが、確かに参加者は少なかった。どの行事でもそうだが、高齢者で働いている方も多いので、人が集まりやすい時期や時間帯を見つけるのは難しい。

栗澤館長：地域の方からの声が聞こえてきたら、また是非教えてください。今後の計画に活用していきたいと思います。

小笠原委員：他の地区ではどんな事業を実施しているか、わかるようであれば参考までに聞きたい。

平野課長：平田では、周辺を散策する内容のものが多く、三鉄の利用促進のために釜石駅まで三鉄で移動し、街中を散策するような内容のものもある。最初は公民館事業だったものを、後から自主活動グループとして立ち上げ、自分達で講師を呼んで活動している事例もある。唐丹の場合は、今でも町内運動会があって、グラウンドゴルフなどのニュースポーツも取り入れている。学校関係の話だと、平田小学校の場合は地域と関わって実施することが学校としては難しいため、公民館事業として子ども達を呼ぶ時は、日中の授業の時間帯は避け、放課後に学童クラブに行っている子ども達を対象に子供向けのDVDを流すなどしている。地域の方に盛り上がりもらえるようなお手伝いが出来ればと思っている。

小笠原委員：活動にかかる費用についても気になるところ。

平野課長：他の地域の活動を例にあげると、花を植える活動は環境美化活動として、地域会議の中で費用を補助している。現状でも他の地区から栗橋地区に来ている方はいるので、何か他にも来る目的になる、外部の方も楽しめるような情報を発信できれば、栗橋地区に来る方はもっと増えると思う。公民館事業でも地域会議でも、地域のことを地域の皆さんでやるということが大事だと思うし、個人的な意見でも、館長の考えとマッチする部分があると思う。例えば、子ども達の夏休み期間中に、地域の皆さんと一緒に活動するような内容を検討するのも良いと思う。

遠野委員：栗橋地区は子どもが遊べる場所が少ない。開催時期は学校のない休日に限られるが、公民館事業として、子どもが地元で遊べるような機会を提供出来たらいいと思う。

遠野議長：ありがとうございます。他にご意見等はありませんか。

遠野議長：ないようなので、本日の審議は終了します。ありがとうございました。

栗澤館長：はい。ありがとうございます。皆さん、様々なご意見ありがとうございました。これで第1回栗橋公民館運営審議会を終了いたします。ありがとうございました。